

# 神田外語大学報

第41号 別冊

## 学校法人佐野学園の財務情報

平成25年8月1日 第41号 広報部発行

〒261-0014 千葉県美浜区若葉1-4-1 電話(043)273-2826 Fax(043)273-2988

URL <http://www.kandagaigo.ac.jp> E-mail [prdept@kanda.kuis.ac.jp](mailto:prdept@kanda.kuis.ac.jp)

# 学校法人佐野学園の平成24年度決算及び平成25年度予算について

## ◆はじめに

学校法人佐野学園は、神田外語大学に加えて専門学校神田外語学院と神田外語キャリアカレッジを併設する文部科学省認可の学校法人です。

今回発表する予算と決算は、次のように機関決定されました。

平成25年度予算は、平成25年3月等に開催の評議員会及び理事会にて決議・承認されました。また、平成24年度決算は、監事及び公認会計士の監査による「適正」意見の下で、平成25年5月に開催の理事会及び評議員会にて決議・承認されました。

## ◆平成24年度決算科目の説明

### 「資金収支計算書」の収入の部

- ① 学生生徒等納付金収入  
併設校等を含めての授業料収入・入学金収入・施設維持費収入等の合算。
- ② 手数料収入  
併設校を含めての入学検定料収入他。
- ③ 寄付金収入  
大使館からの寄付金他。
- ④ 補助金収入  
国庫補助金収入他。
- ⑤ 資産運用収入  
運用資産(現預金)の利息他。
- ⑥ 資産売却収入  
有価証券売却収入。
- ⑦ 事業収入  
神田外語キャリアカレッジの社会人向語学研修料の収入と、教材販売、ソリューション事業(他大学への英語教育支援事業)収入や賃貸料他収入。
- ⑧ 雑収入  
私立大学退職金財団交付金収入とソリューション事業に係る人件費等の受入収入。
- ⑨ 前受金収入  
入学予定者等からの翌年度の授業料等の収入。(その額は、翌年度期首に学生生徒等納付金収入へ振替。)
- ⑩ その他の収入  
前期末未収入金の収入他。

### 「資金収支計算書」の支出の部

- ① 人件費支出  
教員・職員等の人件費及び退職金。
- ② 教育研究経費支出  
教育研究活動に関わる経費の合算。
- ③ 管理経費支出  
管理業務に関わる経費の合算。
- ④ 借入金等利息支出  
日本私立学校振興・共済事業団及び都市銀行からの借入金利息の支払額。
- ⑤ 借入金等返済支出  
日本私立学校振興・共済事業団及び都市銀行への長期借入金の返済額。
- ⑥ 施設関係支出  
大学校舎の改修、併設校校舎の耐震化・改修工事、及び大学・併設校の関連施設等の取得他。
- ⑦ 設備関係支出  
大学IT関連機器、図書取得他、併設校等の設備等の取得他。
- ⑧ 資産運用支出  
有価証券購入支出と減価償却引当特定資産への繰入額他。
- ⑨ その他の支出  
前期末未払金の支払他。

### 「消費収支計算書」の収入の部

- ① 学生生徒等納付金  
資金収支計算書と同一額。
- ② 手数料  
資金収支計算書と同一額。
- ③ 寄付金  
資金収支計算書の同一額に図書等の現物寄贈を加算。
- ④ 補助金  
資金収支計算書と同一額。
- ⑤ 資産運用収入  
資金収支計算書と同一額。

- ⑥ 資産売却差額  
有価証券の売却益。
- ⑦ 事業収入  
資金収支計算書と同一額。
- ⑧ 雑収入  
資金収支計算書の同一額に過年度修正額等を加算。
- ⑨ 基本金組入額  
第一号基本金(施設・設備の新規取得額等)への組入額。

### 「消費収支計算書」の支出の部

- ① 人件費  
資金収支計算書の同一額に退職給与引当金繰入額を加算。
- ② 教育研究経費  
資金収支計算書の同一額に減価償却実施額を加算。
- ③ 管理経費  
資金収支計算書の同一額に減価償却実施額を加算。
- ④ 借入金等利息  
資金収支計算書と同一額。
- ⑤ 資産処分差額  
資産処分による所謂除却損。
- ⑥ 徴収不能額  
授業料他徴収不能額。

## ◆平成25年度予算科目の説明

### 「資金収支計算書」の収入の部

- ① 学生生徒等納付金収入  
収入は、積上額で計上。
- ② 手数料収入  
収入は、平均的な受験者数をベースに計上。
- ③ 寄付金収入  
大使館からのスピーチコンテスト協賛金を計上。
- ④ 補助金収入  
収入は、助成対象事業の積算値。
- ⑤ 資産運用収入  
収入は、運用資産(現預金)の利息他積上額で計上。
- ⑥ 資産売却収入  
有価証券売却収入の予想額を計上。
- ⑦ 事業収入  
収入は、積上額で計上。
- ⑧ 雑収入  
収入は、私立大学退職金財団交付金収入と、ソリューション事業にかかる人件費等の受入収入の合算額で計上。
- ⑨ 前受金収入  
収入は、授業料等の積上額で計上。
- ⑩ その他の収入  
収入予算合計は、個別積算で計上。

### 「資金収支計算書」の支出の部

- ① 人件費支出  
支出は個別人件費等の積上額で計上。
- ② 教育研究経費支出  
支出予算合計は、個別積算の上で計上。
- ③ 管理経費支出  
支出予算合計は、個別積算の上で計上。
- ④ 借入金等利息支出  
日本私立学校振興・共済事業団及び都市銀行からの借入金の利息支払額。
- ⑤ 借入金等返済支出  
日本私立学校振興・共済事業団及び都市銀行の長期借入金の返済額。
- ⑥ 施設関係支出  
大学寮用土地取得・校舎の改修、併設校校舎の耐震化・改修工事及び、関連施設等の改修他。
- ⑦ 設備関係支出  
大学のIT関連機器更新他、及び併設校の設備取得他。
- ⑧ 資産運用支出  
有価証券売却購入の予想額と、減価償却引当特定資産への繰入額の合算額。
- ⑨ その他の支出  
支出予算合計は、個別積算で計上。

### 「消費収支計算書」の収入の部

- ① 学生生徒等納付金

- 資金収支計算書と同一額。
- ② 手数料  
資金収支計算書と同一額。
- ③ 寄付金  
資金収支計算書と同一額。
- ④ 補助金  
資金収支計算書と同一額。
- ⑤ 資産運用収入  
資金収支計算書と同一額。
- ⑥ 資産売却差額  
有価証券売却益の見込額。
- ⑦ 事業収入  
資金収支計算書と同一額。
- ⑧ 雑収入  
資金収支計算書と同一額。
- ⑨ 基本金組入額  
第一号基本金(施設・設備の取得額等)の組入見込額。

### 「消費収支計算書」の支出の部

- ① 人件費  
資金収支計算書の同一額に退職給与引当金繰入予定額を加算。
- ② 教育研究経費  
資金収支計算書の同一額に減価償却予定額を加算。
- ③ 管理経費  
資金収支計算書の同一額に減価償却予定額を加算。
- ④ 借入金等利息  
資金収支計算書と同一額。

## ◆学校会計における科目の特色説明

### (1) 書類の構成

学校法人の会計は、『学校法人会計基準』に基づいて「資金収支計算書」と「消費収支計算書」および「貸借対照表」で構成。学校法人の諸活動に係る年度計画は、すべて資金収支および消費収支の両計算書に予算額として計上され、その実績は決算額として両計算書および貸借対照表に計上される。

### (2) 資金収支計算書

資金収支計算書は、学校法人の当該会計年度の諸活動に対応する、全ての収入・支出の内容を明らかにし、資金の動きの全てが計上される。

前期末未収入金(翌年度以降に入金される収入)と前期末前受金(前年度に入金された新入生等の授業料収入等)は資金収入調整勘定で、期末未払金(翌年度以降に支払う支出)と前期末前払金(前年度に支払った支出)は、資金支出調整勘定で調整することにより、当年度の活動状況を資金の動きで示した。

### (3) 消費収支計算書

消費収支計算書は、企業会計の損益計算書に近い構造である。

消費収入とは、資金収支計算書の収入に学校法人の負債となる収入(翌年度の収入となる前受金収入や負債となる借入金等の収入)を除き、資金の増加を伴わない収入(現物寄付金や資産売却によって発生した売却益)を加えたものを帰属収入として捉え、教育研究に関連した取得資産(土地、建物、機器備品、図書等)を基本金組入額として差し引いた残額である。

消費支出とは、資金収支計算書の支出(人件費、教育研究経費、管理経費、借入金利息等)に、資金の減少を伴わない引当金等(退職給与引当金繰入額、建物等の減価償却額、資産の処分差額等)を加えたものである。

### (4) 貸借対照表

貸借対照表は、年度末における学園の財政状態を明らかにする為、学園が保有する資産、負債、基本金および繰越消費収支差額を科目ごとに表示したものである。

### (5) 基本金

基本金とは学校法人会計独自のもので、企業会計の資本金・出資金とは異なり、学校法人がその諸活動の計画に基づき必要な資産を継続的に保持するために維持すべきものとして、その帰属収入のうちから組入れた金額の累計である。

## 学校法人佐野学園平成24年度決算

●資金収支計算書(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

(単位:千円)

支出の部				収入の部			
科目	予算額	決算額	差異	科目	予算額	決算額	差異
人件費支出	3,900,157	3,857,589	42,568	学生生徒等納付金収入	6,774,711	6,766,095	8,616
教育研究経費支出	1,510,339	1,437,137	73,202	手数料収入	215,904	224,551	△ 8,647
管理経費支出	1,389,849	1,315,903	73,946	寄付金収入	1,690	2,690	△ 1,000
借入金等利息支出	124,266	124,266	0	補助金収入	610,002	624,289	△ 14,287
借入金等返済支出	379,980	379,980	0	国庫補助金収入	456,773	468,832	△ 12,059
施設関係支出	533,110	520,213	12,897	東京都補助金収入	279	2,507	△ 2,228
設備関係支出	128,514	122,951	5,563	千葉県補助金収入	315	315	0
資産運用支出	763,992	1,063,991	△ 299,999	東京都私学財団補助金収入	152,635	152,635	0
その他の支出	324,009	311,911	12,098	資産運用収入	34,132	34,980	△ 848
資金支出調整勘定	△ 195,934	△ 267,299	71,365	資産売却収入	231,088	73,008	158,080
次年度繰越支払資金	10,168,923	10,306,921	△ 137,998	事業収入	670,254	684,397	△ 14,143
				雑収入	211,398	213,054	△ 1,656
				前受金収入	4,762,336	4,986,623	△ 224,287
				その他の収入	196,346	200,345	△ 3,999
				資金収入調整勘定	△ 4,855,938	△ 4,811,751	△ 44,187
				前年度繰越支払資金	10,175,282	10,175,282	
支出の部合計	19,027,205	19,173,563	△ 146,358	収入の部合計	19,027,205	19,173,563	△ 146,358

●消費収支計算書(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

(単位:千円)

消費支出の部				消費収入の部			
科目	予算額	決算額	差異	科目	予算額	決算額	差異
人件費	3,934,742	3,892,708	42,034	学生生徒等納付金	6,774,711	6,766,095	8,616
教育研究経費	2,006,196	1,934,979	71,217	手数料	215,904	224,551	△ 8,647
管理経費	1,681,424	1,617,575	63,849	寄付金	2,828	4,373	△ 1,545
借入金等利息	124,266	124,266	0	補助金	610,002	624,289	△ 14,287
資産処分差額	3	43,252	△ 43,249	国庫補助金	456,773	468,832	△ 12,059
徴収不能額	27,965	28,330	△ 365	東京都補助金	279	2,507	△ 2,228
徴収不能引当金繰入額	0	0	0	千葉県補助金	315	315	0
				東京都私学財団補助金	152,635	152,635	0
				資産運用収入	34,132	34,980	△ 848
消費支出の部合計	7,774,596	7,641,110	133,486	資産売却差額	85,365	3,715	81,650
当年度消費収入超過額	288,205	582,252		事業収入	670,254	684,397	△ 14,143
前年度繰越消費収入超過額	1,366,969	1,366,969		雑収入	211,398	233,771	△ 22,373
基本金取崩額	137	213		帰属収入合計	8,604,594	8,576,171	28,423
翌年度繰越消費収入超過額	1,655,311	1,949,434		基本金組入額合計	△ 541,793	△ 352,809	△ 188,984
				消費収入の部合計	8,062,801	8,223,362	△ 160,561

●貸借対照表(平成25年3月31日現在)

(単位:千円)

資産の部				負債の部			
科目	本年度	前年度	増減	科目	本年度	前年度	増減
土地	17,350,216	17,350,216	0	長期借入金	5,702,090	6,126,520	△ 424,430
建物	14,512,437	14,110,412	402,025	退職給与引当金	922,161	887,042	35,119
構築物	344,254	387,666	△ 43,412	預り保証金	1,120	1,120	0
教育研究用機器備品	283,314	300,646	△ 17,332	固定負債計	6,625,371	7,014,682	△ 389,311
図書	896,188	916,999	△ 20,811	短期借入金	424,430	379,980	44,450
その他有形固定資産	115,690	615,429	△ 499,739	未払金	260,541	293,294	△ 32,753
有形固定資産	33,502,099	33,681,368	△ 179,269	前受金	4,986,623	4,683,054	303,569
施設利用権	7,628	10,167	△ 2,539	預り金	255,694	244,626	11,068
長期保証金	201,256	201,176	80	流動負債計	5,927,288	5,600,954	326,334
有価証券	272,876	272,876	0	負債の部合計	12,552,659	12,615,636	△ 62,977
引当特定資産	2,365,293	1,365,291	1,000,002				
その他固定資産	476,765	492,154	△ 15,389	基本金の部			
その他の固定資産	3,323,818	2,341,664	982,154	第1号基本金	32,581,579	32,228,983	352,596
固定資産計	36,825,917	36,023,032	802,885	第4号基本金	485,000	485,000	0
現金預金	10,306,921	10,175,282	131,639	基本金の部合計	33,066,579	32,713,983	352,596
有価証券	279,253	284,556	△ 5,303	消費収支差額の部			
その他流動資産	156,581	213,718	△ 57,137	翌年度繰越消費収入超過額	1,949,434	1,366,969	582,465
流動資産計	10,742,755	10,673,556	69,199	消費収支差額の部合計	1,949,434	1,366,969	582,465
資産の部合計	47,568,672	46,696,588	872,084	負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	47,568,672	46,696,588	872,084

## 学校法人佐野学園平成25年度予算

●資金収支予算書(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

(単位:千円)

支出の部				収入の部			
科目	本年度予算額	前年度予算額	増減	科目	本年度予算額	前年度予算額	増減
人件費支出	4,005,794	3,900,157	105,637	学生生徒等納付金収入	6,909,477	6,774,711	134,766
教育研究経費支出	1,537,500	1,510,339	27,161	手数料収入	201,456	215,904	△ 14,448
管理経費支出	1,315,423	1,389,849	△ 74,426	寄付金収入	690	1,690	△ 1,000
借入金等利息支出	112,794	124,266	△ 11,472	補助金収入	862,987	610,002	252,985
借入金等返済支出	424,430	379,980	44,450	資産運用収入	28,553	34,132	△ 5,579
施設関係支出	985,286	533,110	452,176	資産売却収入	54,000	231,088	△ 177,088
設備関係支出	136,148	128,514	7,634	事業収入	760,213	670,254	89,959
資産運用支出	300,002	763,992	△ 463,990	雑収入	154,293	211,398	△ 57,105
その他の支出	296,176	324,009	△ 27,833	借入金等収入	0	0	0
[予備費]	300,000	0	300,000	前受金収入	4,854,636	4,762,336	92,300
資金支出調整勘定	△ 192,889	△ 195,934	3,045	その他の収入	179,884	196,346	△ 16,462
次年度繰越支払資金	10,157,226	10,168,923	△ 11,697	資金収入調整勘定	△ 4,935,220	△ 4,855,938	△ 79,282
				前年度繰越支払資金	10,306,921	10,175,282	131,639
支出の部合計	19,377,890	19,027,205	350,685	収入の部合計	19,377,890	19,027,205	350,685

●消費収支予算書(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

(単位:千円)

消費支出の部				消費収入の部			
科目	本年度予算額	前年度予算額	増減	科目	本年度予算額	前年度予算額	増減
人件費	4,051,110	3,934,742	116,368	学生生徒等納付金	6,909,477	6,774,711	134,766
教育研究経費	1,980,725	2,006,196	△ 25,471	手数料	201,456	215,904	△ 14,448
管理経費	1,602,936	1,681,424	△ 78,488	寄付金	690	2,828	△ 2,138
借入金等利息	112,794	124,266	△ 11,472	補助金	862,987	610,002	252,985
資産処分差額	0	3	△ 3	資産運用収入	28,553	34,132	△ 5,579
徴収不能額	0	27,965	△ 27,965	資産売却差額	2,390	85,365	△ 82,975
[予備費]	300,000	0	300,000	事業収入	760,213	670,254	89,959
消費支出の部合計	8,047,565	7,774,596	272,969	雑収入	154,293	211,398	△ 57,105
当年度消費収入超過額	△ 413,613	288,205		帰属収入合計	8,920,059	8,604,594	315,465
前年度繰越消費収入超過額	1,949,434	1,366,969		基本金組入額合計	△ 1,286,107	△ 541,793	△ 744,314
基本金取崩額	113	137					
翌年度繰越消費収入超過額	1,535,934	1,655,311		消費収入の部合計	7,633,952	8,062,801	△ 428,849

# 学校法人佐野学園 平成24年度事業報告書

## 1 法人の概要

### (1) 建学の精神

「言葉は世界をつなぐ平和の礎」の建学の精神の下に、神田外語大学、神田外語学院において語学教育を中心として、グローバルな社会で活躍できる人材の輩出を目指し、教育・研究活動を行っている。

### (2) 教育の目的

本学園に設置する学校での教育目的は次の通りである。

神田外語大学では、広く一般知識を授け、深く専門学術を教授研究するとともに、わが国の伝統と文化を究明し、諸外国の文化を理解し、国際社会の一員として世界に貢献し得る人材を育成することを目的とする。

神田外語学院では、国際言語である英語を主体とし、第二言語(フランス語、スペイン語、中国語、韓国語)を習得し、それぞれの専門分野であるガイド、貿易実務、通訳、ホテル業務、秘書等の学問及び技術をも合わせて習得し、広く海外文化の知識を与え、国際社会人としての教養を育成し、国内は勿論のこと、海外においても十分に活躍し得る有能な人材を育成し、社会に貢献せんとすることを目的とする。

### (3) 学校法人の沿革

昭和38年10月	セントラル米英語学院設立
昭和44年12月	学校法人佐野学園認可
昭和51年6月	専門学校神田外語学院認可
昭和62年4月	神田外語大学開設
平成4年4月	神田外語大学大学院言語科学研究科(修士課程)開設
平成6年4月	神田外語大学大学院言語科学研究科(博士課程)開設
平成12年9月	神田外語大学留学生別科開設
平成13年4月	神田外語大学外国語学部国際コミュニケーション学科、国際言語文化学科開設
平成24年4月	外国語学部の中国語学科、韓国語学科と国際言語文化学科の一部(インドネシア語専攻・ベトナム語専攻・タイ語専攻)を再編してアジア言語学科を、スペイン語学科と国際言語文化学科の一部(ブラジル・ポルトガル語専攻)を再編してイベロアメリカ言語学科を開設

### (4) 設置する学校・学部・学科等(学部学科等の入学定員、学生数の状況)

(平成24年5月1日現在)

#### ①神田外語大学:千葉県千葉市美浜区若葉1丁目4番1号 (単位:人)

学部等名	学科等名	開設年度	入学定員	入学者数	収容定員	学生総数
大学院						
	言語科学研究科博士前期課程	平成4年	16	8	32	15
	言語科学研究科博士後期課程	平成6年	2	0	6	1
	小計		18	8	38	16
外国語学部						
	英米語学科	昭和62年	400	397	1,800	1,847
	中国語学科	昭和62年	0	0	154	168
	スペイン語学科	昭和62年	0	0	151	169
	韓国語学科	昭和62年	0	0	76	108
	国際コミュニケーション学科	平成13年	197	204	842	957
	国際言語文化学科	平成13年	0	0	240	275
	アジア言語学科	平成24年	126	138	126	138
	イベロアメリカ言語学科	平成24年	100	97	100	97
	小計		823	836	3,489	3,759
留学生別科						
	留学生別科	平成12年	65	23	65	54
	小計		65	23	65	54
	大学合計		906	867	3,592	3,829

#### ②専門学校神田外語学院:東京都千代田区内神田2丁目13番13号 (単位:人)

学部等名	学科等名	開設年度	入学定員	入学者数	収容定員	学生総数
専門課程昼間部						
	英語専攻科	平成8年	570	401	1,140	791
	留学科	平成9年	140	67	280	142
	アジア/ヨーロッパ言語科	平成8年	140	149	280	263
	児童英語教育科	平成8年	60	31	120	51
	国際ビジネス科	平成8年	60	14	120	36
	国際秘書科	平成8年	60	15	120	23
	国際観光科	平成8年	60	26	120	51
	国際ホテル科	平成8年	60	41	120	72
	国際エアライン科	平成8年	140	77	280	140
	グローバルコミュニケーション科	平成19年	100	17	200	29
	総合英語ビジネス専科	平成8年	40	13	40	13
	英語基礎養成科	平成20年	40	16	40	16
	児童英語教育専科	平成11年	40	0	40	0
	国際エアライン専科	平成11年	40	0	40	0
	小計		1,550	867	2,940	1,627
	専門学校合計		1,550	867	2,940	1,627

### (5) 役員概要

(平成25年5月27日現在)

区分	氏名	常勤・非常勤の別	就任年月日	担当職務・現職
理事長	佐野 元泰	常勤	平成22年6月1日	
理事	池田 弘一	非常勤	昭和60年12月26日	
理事	小林 忠雍	非常勤	昭和62年1月12日	
理事	水野 五行	常勤	平成15年4月1日	神田外語学院担当
理事	田中 賢二	常勤	平成15年4月1日	副理事長
理事	酒井 邦弥	常勤	平成22年4月1日	神田外語大学長
理事	佐野 幸治	常勤	平成22年6月1日	法人本部長・財務担当
理事	仲 光男	非常勤	平成23年4月1日	
監事	山岸 秀豪	非常勤	昭和44年12月23日	
監事	森 将彦	常勤	平成15年4月1日	

### (6) 評議員の概要

(平成25年5月28日現在)

氏名	主な経歴等
小林 忠雍	非常勤理事
鈴木 昌二	元 世田谷区議会議員
川路 勝実	元 (株)文化企画媒体部長
池田 弘一	非常勤理事、神田外語大学 名誉教授兼ミレニアムハウス館長
久保谷 富美男	佐野学園 理事長室付部長
庄 島 桂子	(株)神田外語文庫 代表取締役社長
佐 藤 徹	元 神田外語大学 事務局長
水野 五行	常勤理事 神田外語学院担当
北原 賢三	神田外語大学 特任教授
佐藤 武揚	元 佐野学園理事
金子 貞夫	神田外語大学 副学長
田中 賢二	常勤理事 副理事長
酒井 邦弥	常勤理事 神田外語大学長
佐野 元泰	常勤理事 理事長
佐野 幸治	常勤理事 法人本部長・財務担当
仲 光男	非常勤理事、(株)雄松堂 常務取締役・戦略室長
鈴木 國仁	(株)ベルージュ 代表取締役社長
斉藤 孝彦	(株)アライド・ネットワークス 特別顧問
横田 弘幸	(株)読売・日本テレビ文化センター 専務取締役
松崎 哲士郎	東日本旅客鉄道(株) 執行役員 横浜支社長

(就任年月日順)

### (7) 教職員の概要(平成24年5月1日現在)

(単位:人)

区分	法人	大学	専門学校	KGCC	計
教員					
専任	0	203	23	0	226
非常勤	0	170	158	78	406
計	0	373	181	78	632
職員					
専任	28	90	54	9	181
非常勤	4	136	27	5	172
計	32	226	81	14	353
合計	32	599	262	92	985

## 2 事業の概要

### (1) 事業の概要等

#### 神田外語大学

- 平成24年度の在籍学生総数は3,829名で、前年比99名増加した。
- 文部科学省のグローバル人材育成推進事業(タイプB・特色型)に本学の取り組みが採択され、大学教育におけるグローバル化を推進する事業に対して、平成24年度から5年間で約5億円の補助金が受けられることとなった。
- 平成25年9月の開設に向け、現役の英語教員をはじめとする社会人を対象とした大学院英語学専攻の、履修方法や課程修了要件の変更、並びに開講する神田キャンパスの開設準備等を行った。
- 交換留学や推奨する留学先を拡充するため、提携校を増やし海外での学習機会の整備を図った。
- 東日本大震災被災地における教育支援ボランティアをはじめ、各種ボランティア活動やインターンシップを通じて、学生に対する人間教育の機会の充実を図った。
- 3号館の空調機器の運転エネルギーを電気からガスへ切り替える工事を実施した。
- キャンパスの無線LAN環境、並びにWi-Fi環境の整備に係る工事を実施した。
- 学生用PC、学内LAN接続用機器、Wi-Fi環境整備機器、ファイルサーバ等の機器備品に関して更新工事を実施した。
- 学生食堂用冷凍庫やフライヤー等の調理用機器備品について、経年劣化のため入れ替え更新を実施した。

#### 神田外語学院

- 平成24年度の入学生数867名で、前年比26名の増加。総学生数は1,627名となり、前年比56名減少した。
- 国際ビジネス科と国際秘書科を統合して、平成25年4月より国際ビジネスキャリア科を開設するため、学生募集を開始した。
- アジア/ヨーロッパ言語科における学生の留学を促進するために、中国、スペイン、フランスの大学や語学学校9校と、また新たに平成26年度に開設する同科インドネシア語、タイ語、ベトナム語の各コース生の留学先として同国の3大学との提携を行った。

- 学年別、学科別にTOEICの明確な到達目標を設定し、併せて指導の強化を図り、最終的に全学科の平均で600点を達成する。
- 編入学希望者の進路達成状況の改善を図るため、編入学センターを中心に指導を充実させ、国公立大16名、私立難関大6名を含む、138名の合格実績を達成した。
- 学習意欲の低い者などの学習意欲喪失を防止する観点から、LA(Learning Advisor – 学習アドバイザー)による助言や「英語学習手帳」等のツールにより、自立学習を促す組織的、かつ体系的な学習支援体制の充実を図った。
- 建物耐震診断の結果補強の必要性があった3号館について、全館耐震補強工事を実施した。また、本館との間の連絡ブリッジにおいても、脚部補強工事、並びに床面防水塗装工事を実施した。
- 本館非常階段の劣化補修、並びに塗装工事を実施した。
- 3号館5階の照明、空調機器について、更新工事を実施した。
- 本館、アネックス校舎において、建物耐震診断を実施した。
- 本館、アネックス校舎において、照明器具等の更新工事を実施した。
- 本館、アネックス校舎の40教室内のTVモニターとVHSプレイヤーを交換して、デジタル化対応とDVD教材への対応を図った。
- 本館204、205教室に設置している同時、逐次通訳や翻訳実習用コンピュータ80台の更新を行った。
- 学生基幹システム「Campus Plan」と冬期集中講座登録システム用のサーバ機、並びに関連機器について、保守、修理対応が不能な状態となったため、入替更新を行った。

**(2) 施設等の整備状況**

**神田外語大学**

- 神田外語大学は、千葉県千葉市美浜区若葉1-4-1に位置し、大学等の校舎を設置している。
- 千葉市美浜区若葉の校地は、延べ98,839.00㎡。
- 校舎は、大学1号館から大学7号館・体育館他で構成される。建築は鉄筋コンクリート造3階建が基本。
- 大学1号館は、延べ面積6,990.99㎡(教室28室、事務室、管理部門、教授室、会議室他)
- 大学2号館は、延べ面積2,163.89㎡(大教室3室、中教室6室他)
- 大学3号館は、延べ面積3,456.34㎡(大教室2室、中教室3室、教室14室、大学院室、教授室他)
- 大学4号館は、延べ面積8,817.32㎡(大教室4室、中教室4室、教室16室、教授室、食堂他)
- 大学5号館は、延べ面積1,975.10㎡(中教室2室、大ホール、事務室他)
- 大学6号館は、延べ面積3,733.32㎡(中教室7室、SALC、教授室、事務室他)
- 大学7号館は、延べ面積7,021.16㎡(教室5室、図書館、MULC、ホール、教授室、事務室、食堂他)
- 体育館は、延べ面積3,067.33㎡(体育館として利用)

**神田外語学院**

- 神田外語学院は、東京都千代田区内神田2-13-13に位置し、学院本館他の校舎を設置している。
- 千代田区内神田地区の校地は、延べ1,862.82㎡。
- 校舎は、本館・アネックス・2号館・3号館・6号館から構成される。
- 本館・アネックスは延べ面積5,821.30㎡(教室52室・講堂等2室・事務室・教員室他より構成)
- 2号館は延べ面積604.54㎡(学生ラウンジ・事務室・教員室他より構成)
- 3号館は延べ面積3,057.06㎡(教室16室・講堂等1室・学生ラウンジ・教員室他より構成)
- 6号館は延べ面積999.80㎡(教室7室・学生ラウンジ・事務室他より構成)

**学生向けの寮等の設備**

- 千葉市花見川区と習志野市に4つの学生寮を設置している。
- 国際寮(習志野市・賃借物件) 収容人数 32名(神田外語大学と神田外語学院の両校で利用)
- 谷津国際寮(習志野市・学園所有) 収容人数 17名(神田外語大学学部生が利用)
- 幕張本郷国際寮(千葉市花見川区・学園所有) 収容人数 43名(神田外語大学学部生が利用)
- 幕張別科国際寮(千葉市花見川区・学園所有) 収容人数 18名(神田外語大学留学生別科生が利用)

**ブリティッシュ・ヒルズ(国際研修施設)**

- 福島県岩瀬郡天栄村田良尾芝草に、延べ床面積が16,011.62㎡となる、研修所1棟、宿泊棟9棟、実習室2棟、職員宿泊棟3棟とその他4棟からなる国際研修施設を所有している。
- 子会社である株式会社ブリティッシュ・ヒルズが運営し、広く民間の学校等の学生英語研修や一般の保養客の受入を行っている。収容人員能力は平成24年度に増設した新研修宿泊棟(バラック)分を含め、262名となった。

**3 財務の概要**

**(1) 決算の概要**

① 貸借対照表の状況

(単位:百万円)

科目	24年度末	23年度末	増減
固定資産	36,826	36,023	803
土地	17,350	17,350	0
建物	14,512	14,110	402
構築物	344	388	△44
機器備品	283	301	△18
図書	896	917	△21
建設仮勘定	0	515	△515
借地権	393	393	0
引当特定資産	2,365	1,365	1,000
其他有形固定資産	683	684	△1
流動資産	10,743	10,674	69
現預金	10,307	10,175	132
其他	436	499	△63
資産の部合計	47,569	46,697	872
固定負債	6,625	7,015	△390
長期借入金	5,702	6,127	△425
退職給与引当金	922	887	35
其他	1	1	0
流動負債	5,928	5,601	327
短期借入金(1年以内の長期借入金)	425	380	45
前受金	4,987	4,683	304
其他	516	538	△22
負債の部合計	12,553	12,616	△63
基本金の部合計	33,067	32,714	353
消費収支差額の部合計	1,949	1,367	582
負債・基本金・消費収支差額の部合計	47,569	46,697	872

科目別の300百万円以上の増減要因の説明

- ：建物の増加要因は、国際研修施設の新棟建設605百万円や専門学校耐震工事185百万円他と減価償却の実施額596百万円による。
  - ：特定資産の増加要因は、減価償却引当特定資産1,000百万円の積増による。
  - ：建設仮勘定の減少要因は、国際研修施設の新研修棟建設支払額504百万円他他の科目振替による。
  - ：長期借入金等の減少要因は、約定返済425百万円の進行による。
  - ：前受金の増加要因は、入学予定者の増加による。
- 平成25年3月31日現在の借入金は、日本私立学校振興・共済事業団より1,726百万円、市中銀行より4,400百万円で構成。

② 資金収支計算書

(単位:百万円)

収入の部	23年度	24年度	増減
学生生徒等納付金収入	6,761	6,766	5
手数料収入	206	225	19
寄付金収入	0	3	3
補助金収入	508	624	116
資産運用収入	33	35	2
資産売却収入	81	73	△8
事業収入	657	684	27
雑収入	280	213	△67
借入金等収入	1,300	0	△1,300
前受金収入	4,683	4,987	304
その他の収入	270	200	△70
資金収入調整勘定	△4,830	△4,812	18
前年度繰越支払資金	10,005	10,175	170
収入の部合計	19,954	19,173	△781
支出の部	23年度	24年度	増減
人件費支出	3,825	3,858	33
教育研究経費支出	1,423	1,437	14
管理経費支出	1,124	1,315	191
借入金等利息支出	137	124	△13
借入金等返済支出	1,680	380	△1,300
施設関係支出	674	520	△154
設備関係支出	71	123	52
資産運用支出	745	1,064	319
その他の支出	399	312	△87
資金支出調整勘定	△299	△267	32
次年度繰越支払資金	10,175	10,307	132
支出の部合計	19,954	19,173	△781

科目別の300百万円以上の増減要因の説明

- ：借入金等収入の減少要因は、昨年あった短期借入金の実行がなかったことによる。
- ：前受金の増加要因は、入学予定者の増加による。
- ：借入金等返済支出の減少要因は、昨年あった短期借入金の返済実施がなかったことによる。
- ：資産運用支出の増加要因は、減価償却引当特定資産への繰入額1,000百万円による。

③消費収支計算書 (単位:百万円)

消費収入の部	23年度	24年度	増減
学生生徒等納付金	6,761	6,766	5
手数料	206	225	19
寄付金	3	4	1
補助金	508	624	116
資産運用収入	33	35	2
資産売却差額	4	4	0
事業収入	657	684	27
雑収入	283	234	△49
帰属収入合計	8,455	8,576	121
基本金組入額合計	△204	△353	△149
消費収入の部合計	8,251	8,223	△28
消費支出の部	23年度	24年度	増減
人件費	3,858	3,893	35
教育研究経費	1,932	1,935	3
管理経費	1,449	1,618	169
借入金等利息	137	124	△13
資産処分差額	7	43	36
徴収不能額	21	28	7
徴収不能引当金繰入額	0	0	0
消費支出の部合計	7,404	7,641	237
当年度消費収支超過額	847	582	—
前年度繰越消費収支超過額	511	1,367	—
基本金取崩額	9	0	—
翌年度繰越消費収支超過額	1,367	1,949	—

科目別の300百万円以上の増減要因の説明  
：対象の大科目なし

(2)経年比較(下記の数字は、百万円単位未満四捨五入で表示)

①収支計算書

ア)資金収支計算書 (単位:百万円)

収入の部	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
学生生徒等納付金収入	5,746	6,009	6,567	6,761	6,766
手数料収入	181	187	197	206	225
寄付金収入	26	6	1	0	3
補助金収入	456	518	389	508	624
資産運用収入	69	46	37	33	35
資産売却収入	236	117	530	81	73
事業収入	648	673	630	657	684
雑収入	75	62	214	280	213
借入金等収入	3,650	0	0	1,300	0
前受金収入	4,371	4,721	4,639	4,683	4,987
その他の収入	978	208	383	270	200
資金収入調整勘定	△4,456	△4,528	△4,827	△4,830	△4,812
前年度繰越支払資金	9,614	9,515	9,839	10,005	10,175
収入の部合計	21,594	17,534	18,599	19,954	19,173
支出の部	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
人件費支出	3,520	3,533	3,806	3,825	3,858
教育研究経費支出	1,359	1,291	1,426	1,423	1,437
管理経費支出	1,295	1,213	1,217	1,124	1,315
借入金等利息支出	122	149	144	137	124
借入金等返済支出	1,725	274	369	1,680	380
施設関係支出	3,524	539	756	674	520
設備関係支出	244	160	144	71	123
資産運用支出	305	336	727	745	1,064
その他の支出	327	416	241	399	312
資金支出調整勘定	△342	△216	△236	△299	△267
次年度繰越支払資金	9,515	9,839	10,005	10,175	10,307
支出の部合計	21,594	17,534	18,599	19,954	19,173

イ)消費収支計算書 (単位:百万円)

消費収入の部	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
学生生徒等納付金	5,746	6,009	6,567	6,761	6,766
手数料	181	187	197	206	225
寄付金	28	9	3	3	4
補助金	456	518	389	508	624
資産運用収入	69	46	37	33	35
資産売却差額	8	6	37	4	4
事業収入	648	673	630	657	684
雑収入	76	62	215	283	234
帰属収入合計	7,212	7,510	8,075	8,455	8,576
基本金組入額合計	△811	△606	△526	△204	△353
消費収入の部合計	6,401	6,904	7,549	8,251	8,223
消費支出の部	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
人件費	3,562	3,578	3,895	3,858	3,893
教育研究経費	1,781	1,811	1,937	1,932	1,935
管理経費	1,648	1,580	1,590	1,449	1,618
借入金等利息	122	149	144	137	124
資産処分差額	60	1	207	7	43
徴収不能額	21	20	21	21	28
徴収不能引当金繰入額	0	2	0	0	0
消費支出の部合計	7,194	7,142	7,794	7,404	7,641
当年度消費収支超過額	△793	△238	△245	847	582
前年度繰越消費収支超過額	1,781	989	751	511	1,367
基本金取崩額	1	0	5	9	0
翌年度繰越消費収支超過額	989	751	511	1,367	1,949

②貸借対照表 (単位:百万円)

	20年度末	21年度末	22年度末	23年度末	24年度末
固定資産	35,567	35,590	35,626	36,023	36,826
流動資産	10,038	10,313	10,262	10,674	10,743
資産の部合計	45,605	45,903	45,888	46,697	47,569
固定負債	8,008	7,656	7,361	7,015	6,625
流動負債	5,215	5,498	5,497	5,601	5,928
負債の部合計	13,223	13,154	12,858	12,616	12,553
基本金の部合計	31,393	31,998	32,519	32,714	33,067
消費収支差額の部合計	989	751	511	1,367	1,949
負債・基本金・消費収支差額の部合計	45,605	45,903	45,888	46,697	47,569

(3)主な財務比率比較(法人全体のもの) (単位:%)

比率名称	計算式	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
人件費比率	人件費/帰属収入	49.4	47.6	48.2	45.6	45.4
人件費依存比率	人件費/学生生徒等納付金	62.0	59.6	59.3	57.1	57.5
教育研究経費比率	教育研究経費/帰属収入	24.7	24.1	24.0	22.8	22.6
管理経費比率	管理経費/帰属収入	22.9	21.0	19.7	17.1	18.9
消費支出比率	消費支出/帰属収入	99.8	95.1	96.5	87.6	89.1
消費収支比率	消費支出/消費収入	112.4	103.4	103.3	89.7	92.9
学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金/帰属収入	79.7	80.0	81.3	80.0	78.9
補助金比率	補助金/帰属収入	6.3	6.9	4.8	6.0	7.3
比率名称	計算式	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
固定資産構成比率	固定資産/総資産	78.0	77.5	77.6	77.1	77.4
固定負債構成比率	固定負債/総資産	17.6	16.7	16.0	15.0	13.9
自己資金構成比率	自己資金/総資金	71.0	71.3	72.0	73.0	73.6
固定比率	固定負債/自己資金	109.8	108.7	107.9	105.7	105.2
流動比率	流動資産/流動負債	192.5	187.6	186.7	190.6	181.3
総負債比率	総負債/総資金	29.0	28.7	28.0	27.0	26.4
負債比率	総負債/自己資金	40.8	40.2	38.9	37.0	35.8
基本金比率	基本金/基本金要組入額	92.9	93.4	90.0	90.5	91.0

学校法人佐野学園 財産目録(平成25年3月31日)

I 資産総額	47,568,672千円
内 基本財産	23,390,470千円
運用財産	24,178,202千円
収益事業用財産	0千円
II 負債総額	12,552,659千円
III 正味財産	35,016,013千円

区分	金額
財産目録	
一 資産額	
(一)基本財産	
1 土地	計 104,913.78 m <sup>2</sup> 12,642,140 千円
2 建物	計 53,948.95 m <sup>2</sup> 9,073,676 千円
3 図書	184,985 冊 896,188 千円
4 教具・校具及び備品	計 7,910 点 337,619 千円
5 構築物	計 122 点 161,740 千円
6 車輛	5 台 1,584 千円
7 借地権(大学教員寮)	5 件 35,785 千円
8 電話加入権	48 件 1,814 千円
9 施設設備利用権	1 件 0 千円
10 ソフトウェア	21 件 38,654 千円
11 長期保証金	17 件 201,257 千円
12 預託金	1 件 13 千円
(二)運用財産	
1 預金・現金	10,306,921 千円
2 積立金	5 件 2,365,293 千円
3 有価証券	552,129 千円
4 不動産	10,686,526 千円
5 販売用品(教材他)	3,274 千円
6 未収金	161 件 131,397 千円
7 前払金	8 件 9,040 千円
8 保険積立金(養老・年金保険)	1 件 41,300 千円
9 長期貸付金	1 件 1,225 千円
10 仮払金	20 件 12,422 千円
11 立替金	2 件 448 千円
12 施設利用権	6 件 7,628 千円
13 備品	244 件 59,801 千円
14 ソフトウェア	1 件 798 千円
資産総額	47,568,672 千円
二 負債額	
(一)固定負債	
1 長期借入金	3 社 5,702,090 千円
2 退職給与引当金	230 人分 922,161 千円
3 預り保証金	1 社 1,120 千円
(二)流動負債	
1 短期借入金(1年以内返済分)	4 社 424,430 千円
2 前受金	5,361 件 4,986,623 千円
3 未払金	512 件 260,541 千円
4 預り金	11,953 件 255,694 千円
負債総額	12,552,659 千円
三 借用財産	
1 土地	439.08 m <sup>2</sup> 0 千円
2 建物	1,629.68 m <sup>2</sup> 0 千円
正味財産(資産総額-負債総額)	35,016,013 千円

学校法人佐野学園 監査報告書

監査報告書

平成25年5月24日

学校法人佐野学園 理事長殿  
 学校法人佐野学園 理事会殿  
 学校法人佐野学園 評議員会殿

学校法人佐野学園  
 監事 山岸 秀豪 ㊟  
 監事 森 将彦 ㊟

私たちは、私立学校法第37条第3項及び学校法人佐野学園寄附行為第9条の6に基づき、学校法人佐野学園の平成24年度(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)における学校法人の業務及び財産の状況について監査を行いました。

監査に当たり、理事会、評議員会その他重要な会議に出席し、理事及び職員からの業務の報告を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧する等々を行いました。

監査の結果、計算書類(資金収支計算書、消費収支計算書、貸借対照表及び附属明細表)は、学校法人会計基準(昭和46年文部省令第18号とその後の改正)に準拠して作成されておりました。

また、計算書類と財産目録は、法人の収支及び財産の状況を適正に表示しており、学校法人の業務及び財産に関し不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実は認められませんでした。

以上

平成25年度学校法人佐野学園事業計画

1 学校法人佐野学園の概況

人口減少や高齢化の進展等により国内市場が縮小していく中、国としてグローバルな舞台に積極的に挑戦・競争し、活躍できる人材の育成が急務となっており、とくに大学教育においてはグローバル化人材育成支援のための体制整備の推進が必要となっている。

初等中等教育においては、「新学習指導要領」に基づく英語授業が段階的に開始されているが、平成25年4月より高校での授業が開始される。高等教育機関における語学教育、とりわけ英語教育に関しては、今後その内容や指導方法について、大きな変革が求められるなどの影響が出てくるものと思われる。

このような点からも、引き続き学園は特色や効果が最大限に発現されるような教育の提供と、社会で中心的な役割の担えるような人材を輩出できるような指導などに努めていく。

本年3月で中期経営計画の第2フェーズを終え、その検証と総括を踏まえて昨年10月より策定した第3フェーズ(平成25年度～平成27年度)がスタートする。また、今回は策定方針の1つである神田地区の再開発計画の着手を約10年後に見据えて、その財源を確保していく目標として長期財務目標(10ヵ年)も併せて策定した。また、その計画の達成を確実にするため、機関ごとに目標管理推進責任体制を敷いた。財務目標を学園一丸となり達成して、神田地区において語学や人材育成において、社会のニーズに呼応した質の高い教育システムを提供するための施設として「神田外語総合教育ビル」(仮称)を建設し、それ以降においても語学教育、並びに人材育成の分野におけるフロントランナーとして高い地位と評価を確立し続けることを目指す。

神田外語大学においては学科再編の2年目にあたり、とくにアジア・イベロアメリカ言語学科の特徴を強化していくため、8号館(少人数教室棟)や新国際寮の建設構想を具現化し、引き続き教育水準の向上を図っていく。

神田外語学院においては引き続き教育内容の分析と改善、及び成果の検証を行い、教育力の強化や学科・コース改革等に反映させるとともに、ラーニングアドバイザーを核とした学習支援体制の拡充等によって在学生の力を伸ばし、その結果を志願者のレベルと数の双方において向上させられるよう図っていく。

2 神田外語大学

① 教育及び学生支援の充実

- 英語教育、及び多言語(中国、韓国、インドネシア、ベトナム、タイ、スペイン、ポルトガル)教育・ICT教育の充実
- 自立学習支援、及びボランティアセンター設置によるボランティア活動機会の充実

② 教育施設等の整備

- 新国際寮用地の取得、及び基本設計の開始、大学院用神田教室改修
- 学内無線LAN環境の整備

- 経年劣化に伴う施設設備の改修(旧学生食堂改修、図書管理システム、PC更新等)

③ グローバル人材育成事業の推進

- グローバル推進室設置による全学的なグローバル人材育成支援体制の強化

④ 財政基盤の安定化

- 外部資金調達(ソリューション事業活動の推進、寄付金等)
- 経費節減、及び省エネ化推進(節電、照明設備、エネルギー等)

3 神田外語学院

① 教育力の強化

- TOEICをベースとした英語運用能力の強化(TOEIC合宿の実施、スピーキング・ライティングテストの順次導入)
- TOEICアドバイザー任用、及び新TOEIC関連カリキュラムの作成
- キャリア教育の強化(授業コマ数増加、数理授業の導入、美容講習開始)
- 自立学習支援の強化(英語学習手帳とセルフラーニングを融合したEIC授業の継続)

② 学科の見直し、教育研究活動

- 2014年4月開設予定のアジア／ヨーロッパ言語科(タイ語、ベトナム語、インドネシア語専攻)の各コースの開設準備
- 児童英語教育科の授業運営方式の変更

③ 学生対応力の強化

- 学生カルテ(プロフィール)データの学内共有化
- 大学編入関連の業務対応の整理、一本化

④ 教育施設等の整備

- 本館、アネックス校舎の耐震補強工事、並びに3号館6階の改修
- ICT授業関連等、PC80台の入替
- 本館、3号館の給水管更新工事
- 3号館自家発電設備更新

4 神田外語キャリアカレッジ(KGCC)

- 法人研修においては、企業を取り巻く状況が厳しい中で、既存顧客からの売上を維持・確保するとともに、長期に亘り神田外語グループにとってのメリットが享受できる優良な新規顧客先を中心に、戦略的な営業活動を展開する。
- スクール運営においては、語学系を中心とした従来の講座設定からの脱却を図り、ニーズによりマッチした、専門分野に関する講座の開設に注力していく。

5 主要指数等

① 学生数の変遷

	平成24年度補正		平成25年度予算	
	学生数総数	入学者数	学生数総数	入学者数
神田外語大学	3,759名	836名	3,722名	879名
神田外語学院	1,627名	867名	1,700名	930名
計	5,386名	1,703名	5,422名	1,809名

※平成24年度補正の学生数総数および入学者数は、平成24年度学校法人実態調査表(平成24年7月文部科学省提出)1学校法人の概要(1)設置する学校の内容の数字から。平成25年度予算の学生数総数および入学者数は、予算積算予想数によるもの。大学の学生総数は、学部生のみ。

② 授業料等収入の動向

	平成24年度補正		平成25年度予算	
	授業料等	検定料	授業料等	検定料
神田外語大学	4,646百万円	183百万円	4,676百万円	169百万円
神田外語学院	2,128百万円	24百万円	2,233百万円	24百万円
計	6,774百万円	207百万円	6,909百万円	193百万円

※授業料等は、入学金、授業料、施設維持費、実験実習料からなる。検定料は、手数料収入の入学検定料収入である。

③ 施設・設備関係支出

	平成24年度補正		平成25年度予算	
	施設等	設備等	施設等	設備等
神田外語大学	238百万円	93百万円	422百万円	127百万円
神田外語学院	295百万円	35百万円	563百万円	9百万円
計	533百万円	128百万円	985百万円	136百万円

④ 施設関係支出の明細

	平成25年度予算		
	事項	項目	事業費
神田外語大学	新学生寮建設	土地	300百万円
	新学生寮建設設計	学生寮建設	10百万円
	旧学生食堂改修	校舎改修	50百万円
	大学院キャンパス設置	校舎改修	20百万円
	研修施設安全対策工事	研修施設改修	22百万円
	校舎照明設備改修	校舎改修	5百万円
	校内道路外灯増設	環境整備	2百万円
	その他改修等	その他	13百万円
		計	422百万円
神田外語学院	本館他耐震工事	校舎改修	450百万円
	3号館改修工事	校舎改修	64百万円
	3号館受変電設備改修	校舎改修	45百万円
	その他改修等	その他	4百万円
		計	563百万円
		合計	985百万円

⑤ 設備関係支出の明細

	平成25年度予算		
	事項	項目	事業費
神田外語大学	学生用PCリプレース	PC等機器備品	47百万円
	図書館管理システム	PC等機器備品	25百万円
	無線LAN教室整備	PC等機器備品	18百万円
	証明書発行機入替	PC等機器備品	12百万円
	図書	図書	10百万円
	教室AV機器更新	PC等機器備品	6百万円
	校舎エアコン更新	環境整備	3百万円
	サーバ・PC更新	PC等機器備品	2百万円
	その他備品	その他	4百万円
			計
神田外語学院	サーバ機器更新	PC等機器備品	4百万円
	ロッカー等	什器備品	3百万円
	その他備品	その他	2百万円
		計	9百万円
		合計	136百万円

以上

\* 中期経営計画について

2007年度から2009年度を第1フェーズ、2010年度から2012年度までを第2フェーズとして計画を推進してきた中期経営計画は、2013年度より3ヵ年の第3フェーズに入る。第3フェーズでは実践的な力を持つグローバル人材育成のため、グループとして語学教育、とりわけ英語教育における質の向上を目標とする。また、最高の教育を提供するための拠点としての、神田地区の再開発を2022年(平成34年)頃を開始する目標を織り込み、策定された。この目標を達成するために、法人・大学・学院各部門が事業計画を策定し、計画の進捗を管理しつつ各事業を推進していく。

\* 「グローバル人材育成推進事業」について

若い世代の「内向き志向」を克服し、国際的な産業競争力の向上や、国と国の絆の強化の基盤として、グローバルな舞台に積極的に挑戦し活躍できる人材の育成を図るために、大学教育のグローバル化を行う体制整備を推進する事業に対して、補助金を交付し、重点的に財政支援を行うもの。タイプA(全学推進型)とタイプB(特色型)があり、神田外語大学はタイプB事業として申請が採択され、2012年度から5年間補助金を受ける予定である。タイプA(全学推進型)採択は北大をはじめ11大学、タイプB(特色型)採択は本学をはじめ31大学であった。特色型はその事業の設定目標について、対象となる学部・研究科等でその達成を目指す取り組みを対象としたものである。